

# 定例公安委員会開催概要

## 1 開催日

令和6(2024)年11月13日

## 2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

### ■全体会議

#### 【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「先日、北部三県警察音楽隊演奏会及び県警音楽隊定期演奏会を観覧したが、大変素晴らしい演奏会であった。本年は、当県が開催県であったため、相当なプレッシャーがかかっていたと思うが、見事に役割を果たしていただいた。観客も年齢層が幅広く、多くの方が訪れていたことからしても、地域住民の期待の大きさがうかがえる。音楽隊の活動は、県民から親近感を持ってもらえるとても良い活動であるので、今後もバックアップをお願いしたい。」

旨の発言があった。

#### 【刑事部議題】

##### ○ 盛岡少年刑務所刑務官による被収容者の処遇等をめぐる贈収賄事件被疑者の検挙について

警察本部から、「本年9月18日、刑事部長を捜査本部長とする45名体制の「捜査本部」を盛岡東警察署に設置し、刑事部内の一部所属や警察署から捜査員の派遣を受けながら、盛岡少年刑務所刑務官による被収容者の処遇等をめぐる贈収賄事件の捜査を進めていたところであるが、新たに、生活面で便宜を図った等の見返り(謝礼)に、複数回にわたり懲役受刑者の男から現金合計約十数万円の賄賂を収受(供与)し、さらに、賄賂を供与させるに当たり、取得事実を偽装しようと考え、第三者に賄賂を受領させた事実が判明したため、本年11月6日、刑務官の男を再逮捕したほか、第一事件とは別の受刑者1名を逮捕した。引き続き、被疑者の取調べや各種裏付け捜査等を進め、事案の真相を明らかにする。」旨の報告があった。

##### 《 委員発言 》

「全国的に見ても珍しい事案であり、このような事件を検挙したことは大変素晴らしい成果であったと思う。一方、留置施設を持つ県警察においても、本件を「他山の石」として捉え、留置施設における不適切事案の絶無を期していただきたい。」

#### 【警備部議題】

##### ○ 令和6年テロ対策いわてパートナーシップ推進会議総会の開催について

警察本部から、「テロ対策いわてパートナーシップ推進会議は、関係機関・団体、事業者及び

地域住民等が連携し、継続的に各種テロ対策を推進することで、テロの未然防止のほか、万が一テロ等が発生した場合にも、人的被害を発生させない（被害を最小限に抑える）ことを目的に平成29年10月に設立したもので、官民連携のパートナーシップ活動を通じたテロに強い街づくりを目指している。平成29年の推進会議の設立以降、毎年「総会」を開催し、活動状況の報告、参画機関との情報共有、専門家等による講演を行い、テロに対する危機管理意識の向上を図ってきたが、令和2年度から令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、書面開催（書面決議）となり、昨年（令和5年）から対面による総会を開催している。

本年の総会は、11月14日午後1時30分から午後4時までの間、警察本部7階大会議室で開催する。本総会において、新たに岩手医科大学附属病院放射線治療部及び国土交通省東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所から承認をいただくと参画企業・団体は92団体となる。

今回の総会では、前回の総会以降に実施した主な対処訓練や研修等の取組、情報発信（パートナーシップだより）の経過、警備諸対策の実施結果等を報告するほか、今後のパートナーシップ推進会議の活動方針、訓練、警備対策等の予定についての報告する。また、警備部警備課から「岩手県内におけるテロの未然防止対策」、NTT東日本(株)岩手支店から「有事における通信の確保」に関する情報提供を予定しているほか、大阪府警察本部警備部警備総務課長警視正近藤亮治様から「大阪・関西万博に向けたテロ対策等への取組み」と題した特別講演を予定している。

今後も官民連携した活動を継続し、「警戒の空白」を生じさせないよう、関係機関・団体と情報共有を図り、連携を深めていくこととしたい。」旨の報告があった。

## ■個別会議

### ○ 監察課

岩手県を被告とする損害賠償請求事件の勝訴判決についての説明

### ○ 交通企画課

運転免許取消処分取消しを求める審査請求の審理結果等についての説明、決裁

### ○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁